

広島高速5号線シールドトンネル工事の進捗状況等について

1 要旨・目的

広島高速道路公社が事業を進めている広島高速5号線のシールドトンネル工事の進捗状況等について報告する。

2 現状・背景

広島高速5号線シールドトンネル工事については、昨年10月から牛田地区の住宅地区間を掘進しており、地表面沈下の抑制などの対策を取りながら慎重に工事を進めている。

また、安全・安心に工事を進めるための地元対応により生じた費用、掘削に時間を要していることに伴う現場管理費等が必要となっており、これらの費用負担等に係る契約変更の内容について、受注者から公社に対し、建設工事紛争審査会に調停申請する意思が示されている。なお、公社及び受注者ともに、これまでと同様に安全・安心を第一として早期完成を目指し工事を継続していくこととしている。

3 概要

(1) 対象者

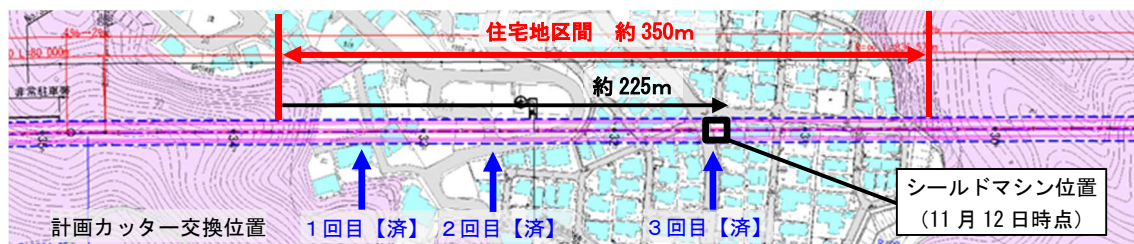
—

(2) 事業内容（実施内容）

ア 牛田地区におけるシールドトンネル工事の進捗状況

住宅地区間で3回目の計画カッター交換を実施した後、今月10日から掘削を再開しており、12日時点において、住宅地区間約350mのうち約225m地点（シールドトンネル工事の延長約1,400mのうち約870m地点）に到達している。

10月14日の掘削中にマシン直上の地表面変位が一次管理値(1.3mm)に到達(+1.4mm)したところであるが、当該計測点については、その後大きな変動は見られておらず(今月12日時点において+1.0mm~+1.5mmの間を推移)、監視体制を強化しながら工事を進めている。(+:隆起方向の変位)



イ シールドトンネル工事の契約変更

今月12日時点では、審査会から申請書を受理した旨の通知は、公社に届いていない。引き続き、事業主体である公社や広島市と連携し、公正性・透明性の確保を図りながら早期に合意できるよう取り組む。

(3) スケジュール

—

(4) 予算（単県）

令和4年度 広島高速道路公社出資金・貸付金 1,850百万円

(5) 今後の対応

引き続き、事業主体である公社や広島市と連携し、住民の不信や不安を可能な限り払拭できるよう、適切かつ丁寧な対応に努めながら、着実な事業推進に取り組む。